

プレス公表（運転保守状況）

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
	2018年 3月30日	5号機	海水熱交換器建屋（非管理区域）における 海水の漏えいについて（区分 ）	<p>【発生状況】 2018年3月30日午前10時50分頃、5号機海水熱交換器建屋（非管理区域）地下2階において、電解鉄イオン供給設備^{*1}の点検後、復旧作業のため海水にて水張りを実施していたところ、隣接するタービン補機冷却海水系の点検箇所開放部から周辺の床に海水（約470リットル）が漏えいしていることを確認しました。 その後、水張り作業を停止したことにより、漏えいは停止しました。</p> <p>本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>漏えいした海水については、排水処理を実施しました。 システムを隔離（弁閉）していた弁からの漏えい（シートパス^{*2}）が原因と考えております。 （2018年3月30日お知らせ済み）</p> <p>【対応状況】 システムを隔離（弁閉）していた弁のうち漏えい（シートパス）が考えられる2台の弁の分解点検を行った結果、1台の弁について、弁の内部に海生生物が付着しているため、弁が完全に閉まらない状態であることを確認しました。 そのため、当該弁に付着していた海生生物の除去などの手入れを行い、弁からの漏えいがなくなったことを確認しました。 なお、今回の事象を踏まえ、電解鉄イオン供給設備点検後の復旧作業のための水張り時に使用する手順書について、シートパスの可能性を考慮した手順に記載を見直すことにより海水漏えい防止を図ります。</p> <p>*1 電解鉄イオン供給設備 熱交換器（原子炉建屋補機冷却系およびタービン建屋補機冷却系）の海水側配管内面に耐食性に優れた酸化鉄系防食（サビ防止）被膜を形成する設備。</p> <p>*2 シートパス 弁開閉箇所が閉状態において不純物の噛み込み等により弁が全閉とならず水が流れる事象。</p>

5号機海水熱交換器建屋（非管理区域）における海水の漏えいについて

